



いずみ野

平成31年4月5日
横浜市立いずみ野小学校

令和時代の幕開けに思う

校長 松藤 朋治

本校に着任して、2回目の春を迎えました。
先日、出張先から帰校するとき、学校前の街路
樹の桜をぼんやり眺めながら歩いていました。
『今年もきれいに咲いているな。』

そこへ、道路の向こう側から元気な声が…。
「校長先生、こんにちは！」
「こんにちは。」

と返すと、弾むような声で
「先生、また金曜日お会いしましょう！」

金曜日とは、始業式のある日のことです。おそらく、その子は新しい学年に進級
するその日をわくわくした面持ちで待ち望んでいるのでしょう。だから、すぐに
“金曜日”が出たのでしょう。学校が始まることを待ち望んでいる子供がいる。
…校長にとって、こんなにうれしいことはありません。

「うん、待ってるよ！」

と手を振って応えました。ふと気が付くと、その子の言葉に触発されたかのように、私は『よしっ！』と拳を握りしめていました。

さて、このたび「横浜教育ビジョン2030」に基づいた「第3期横浜市教育振
興基本計画」が策定されました。これは、教育基本法第17条第2項に基づく「地
方公共団体における教育の振興のための施策に関する基本的な計画を示したもの
で、計画期間は平成30（2018）年度～令和4（2023）年度になります。
その基本姿勢は大きく2つあり、「持続可能な学校への変革」と「客観的な根拠に
基づく教育施策の推進」です。

前者については、本校は横浜市ESD推進校として取り組んでおり（平成30年
度学校だより1・2月号をホームページにて参照）、今後も「SDGsと結びつく
ESD（持続可能な開発のための教育）」を意識してより一層推進していきます。
後者については、明確な指標設定のもと、他機関とも連携し、学力・学習状況調査
等のデータ分析等を踏まえて授業改善し学力向上に取り組んでいきます。

先日の子供とのやり取りは短い時間でしたが、心が通い合った、まさに「令和」
の幕開けにふさわしいものでした。30年（一世代 1 generation ≒ 30年）後、
その子の子供が小学校に通う頃、大人になったその子が学校前の街路樹を眺めて
『今年もきれいに咲いているな。』と言っていることを願っています。

